

幼稚園・認定こども園における学校評価報告書

丹波篠山市立八上幼稚園

園長 小田 環

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

やさしい心もち 自ら考え みなぎる元気な 園児の育成 ・友だちとの関わりを通して、思いやりの心をもつことのできる子 ・よく考え、最後まで意欲的に取り組む子 ・体を動かす楽しさを感じ、何事にも積極的に挑戦する子

2 今年度の重点目標

・様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てる。 ・基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養う。 ・4歳児：豊かな遊びや生活の経験を通して必要な言葉を身に付け、いろいろな方法で表現することを楽しむ。 ・5歳児：友だちと一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう。友だちとの関わりを通して社会における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
重点目標	様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てているか。	A	地域の方との交流が増え人とのふれあいを通して、豊かな感性の育成に寄与できた。日々の保育を通して、機会を捉えて物事の意味を伝え、園児の心の発達を促すこともできた。
	家庭と連携して、基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養う。	B	発達段階や個々に応じた保育を行い、基本的な生活習慣の意識づけができた。園と家庭とがさらに連携して、お手伝いや身の回りのことを自分でできるように支援していきたい。
教育課程・指導	友だちとの関わりを意識させ楽しく遊ぶための環境づくりや援助の在り方に取り組むことができたか。	A	教師も遊びに加わり、体を動かして遊ぶ楽しさを伝えた。運動療法を取り入れ、遊びを通して、体の発達を促すトレーニングを意識して行うことができた。
	丹波篠山市ふた葉プロジェクトに基づいて、眠育、食育の指導を行ったか。	B	給食センター見学など食育指導を行い、食育の重要性について考えることができた。ドキュメントテーションの掲示や、登降園時に保護者へ積極的に園児の様子を伝えた。絵本の読み聞かせを通じて眠育にも取り組めた。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・園児たちのしたいことを丁寧に聞きながら、教育内容に生かして、保育が展開されている。
- ・お楽しみ会や生活発表会など、一つ一つの行事や活動を終えるたびに成長を感じる。
- ・普段から園児の主体性を育む教育に取り組まれてきた成果であると考えている。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・家庭における役割を意識して、お手伝いをする姿が見られてきた。
- ・幼稚園に通うようになり、虫や生き物を触ったりするのが苦手だったのが、今では触ったり持ったり、虫の知識を話すようになっている。
- ・幼稚園や外遊びをしているときに、周りの様子を見て、困っている友だちがいたらすぐ気づけるようになってきた。
- ・今までは、嫌な事があるとすぐ泣いていたが、泣かなくなったり、もじもじしたりしなくなった。自分の気持ちを少しずつ言えるようになってきた。
- ・今年度は、小学校のみんな遊びに幼稚園も参加した。大きな行事だけでなく、普段から幼小連携して活動することで、子どもたちは小学校のイメージをつかんで、入学することができる。150周年行事に幼稚園も参加して、全校合唱を聞いたり、手形制作をしたりした。
- ・園評価については全体的に良い評価である。しかし、「お子さまは、出会った人にあいさつをしていますか。」の項目が低くなっている。小学校でも児童を主体としたあいさつ運動に取り組んでいる。小学校、そして家庭・地域と連携して、あいさつの大切さを感じさせる取り組みを行いたい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てているか。	次年度以降、さらに交流活動を積極的に進めていきたい。学校運営協議会委員や地域の方にも呼びかけ、普段の園生活を見ていただく機会も作っていきたい。
家庭と連携して、基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養う。	園で指導したことが、園児を通じて保護者にも伝わっていることがわかった。園でできることは進めていきたい。あいさつについては、一人一人の個性も大切にしていきたい。
友だちとの関わりを意識させ楽しく遊ぶための環境づくりや援助の在り方に取り組むことができたか。	次年度以降も、運動療法を取り入れ、遊びを通して、体の発達を促すトレーニングを行っていきたい。幼小連携をさらに進めていき、多様な人との関わりも大切にしていきたい。
丹波篠山市ふた葉プロジェクトに基づいて、眠育・食育の指導を行ったか。	食育・眠育ともに、家庭との連携が重要である。よく遊ぶとよく眠れることから、早寝早起き朝ごはんに加えて、よく遊ぶことも啓発をしていきたい。